

総合実習（機関係）	単位数	8単位
	海洋科学科 2年B組	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	水産や海洋の各分野に関する総合的な知識と技術を習得させ、安全を重んじ技術の改善を図るとともに、実務に活用する能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	船用機関1、2・機械設計工作・電気工学・自動車工学・訓練記録簿等

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考	考查
第2学期又は第3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・機関当直実習 ・機関整備実習 ・マグロ延縄操業実習 ・船用機関、電気工学等の座学 ・海洋観測 ・水揚げ作業 ・プロジェクト学習 ・寄港地活動 	9	1. 実習船「進洋丸」で実務経験を通じて海洋及び漁業の実態を把握する。 2. 漁法・操船及び機関の運転・保守整備に関する知識を習得する。 3. 船舶職員としての必要な能力と態度を養う。	座学で学んだことを総合的に実践させ実習に取り組むこと。	
		10			
		11			
第3学期	【課題・提出物等】 1 訓練記録簿 2 乗船実習日誌 3 プロジェクト学習	又は			
		1			
		2			
3					
【評価方法】	船長、機関長および乗船教官の協議の上評価する。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで座学で習得した船用機関等に関する知識や技術を、船舶の機関運転・保守整備を通じて、十分に理解を深められるよう積極的に実習に参加して欲しい。 ・安全を重んじ技術の改善を図るとともに、実務に活用する能力と態度を育てて欲しい。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・乗組員や指導教官の指示に従い、安全に十分留意し実習に取り組むこと。 ・挨拶、時間厳守、整理整頓など日常から基本的な生活習慣を身に付けること。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度 	船用機関と漁業生産について関心を持ち、その知識・技術の習得に意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への参加状況及び態度 ・訓練記録簿 ・プロジェクト学習
<ul style="list-style-type: none"> ・ 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 	船用機関と漁業生産について自ら思考を深め、その問題の解決に向け、適切に判断し、創造工夫する能力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の状況 ・訓練記録簿 ・プロジェクト学習
<ul style="list-style-type: none"> ・ 技 能 	船用機関と漁業生産に関する技術の習得や調査・研究などの実践活動について、それらを的確に表現し、漁業生産に活用し生産性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の状況 ・訓練記録簿 ・プロジェクト学習
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知 識 ・ 理 解 	船用機関と漁業生産に関する知識を身に付け、漁船や漁業の意義や役割を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の状況 ・訓練記録簿・プロジェクト学習

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・座学で学んだことをこの乗船実習において関連づけ確実に身に付けて欲しい。 ・挨拶、時間厳守、整理整頓など日常から基本的な生活習慣を身に付けて欲しい。
